

ソフトウェア・デファイン 実践力習得セミナー

～ ソフトウェア・ファーストからソフトウェア・デファインドへ ～

開催日時 **2026年11月27日(金)**

開催形式 **オンライン配信 (Zoom)**

2027年 2月10日(水) 各回とも 9:30～16:30

- 対象**
- ソフトウェア・デファインドの最新動向を理解したい方
 - SDV関連事業などに参画したいITベンダー
 - SDV スキル標準を理解し、実務に活かしたい方
 - SDV関連：特に影響を受ける部品メーカー・OEM の技術/企画/品質部門
 - 自社製品のソフトウェア・デファイン化の検討中の方
 - 情報システム部門・制御（組込み）系エンジニア

講師 **高安 篤史 氏**
合同会社コンサルンス 代表

参加料(税込) 法人会員：62,150円/1名
会員外：73,150円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

近年、製造業を取り巻く環境は、「ソフトウェア・ファースト」の考え方をさらに発展させた「ソフトウェア・デファインド」へと急速に移行しています。これは単にソフトウェアの比重が高まるという話ではなく、ハードウェア機能を抽象化し、後から更新・進化できる構造を前提に製品・工場・サービス全体を再設計する、大きな構造転換を意味します。特にSDV (Software Defined Vehicle) をはじめとする分野では、従来の部品単位・縦割りでの開発や評価の考え方が通用しなくなり、中央での統合アーキテクチャー、OTA (Over The Air) による更新、クラウドやデジタルツインとの連携を前提とした推進方法が不可欠となっています。

本セミナーでは、「ソフトウェア・デファインド」の基本概念から、アーキテクチャーの考え方、業界別の応用例、さらには推進体制・人材育成までを体系的に解説します。特に、部品メーカー・OEM・ITベンダーがどのような役割分担で関与すべきか、従来の開発・評価プロセスをどう移行させるべきかといった実務的な論点に重点を置きます。演習を通じて、自社製品・自社事業におけるソフトウェア・デファインド化の影響や課題を整理し、現実的な推進イメージを持ち帰っていただくことを狙いとしています。

違い

観点	ソフトウェア・ファースト	ソフトウェア・デファインド
目的	ソフトウェア価値の最大化	製品・サービス全体をソフトウェア中心に再構築
対象	開発プロセス	アーキテクチャー・組織・ビジネスモデル
更新	部分的	全体をOTA/クラウドで継続更新
例	アプリ中心の開発	SDV, SDF, SDx

■ プログラム

9:30～16:30 【昼休み】 12:30～13:30

1 ソフトウェア・デファインドとは？

- ソフトウェアの特性（不可視、不壊、無限複製、可変成長、顧客接点）
- ソフトウェア・デファインドの概要
- ソフトウェア・ファーストとの違い
- ソフトウェア・デファインドが求められる背景
- クラウドの活用とOTA (Over The Air) でのソフトウェア更新
- 部品メーカーなどへの影響（業界構造の変化）
- デジタルツインとの統合
- ソフトウェア・デファインドで発生するビジネス変革
- 関連の法律/規制(PL法、IEC 61508、ISO 26262、UN-R156、ISO 21434など)

演習 あとから更新が可能なソフトウェアのメリット

2 ソフトウェア・デファインドのアーキテクチャー

- ソフトウェア・デファインドのアーキテクチャーの考え方
- ハードウェア機能の抽象化（仮想化）
- クラウドネイティブ制御（疎結合、マイクロサービス化、コンテナ）
- すり合わせ開発からアジャイル開発へ（含むCI/CD）
- ソフトウェア・デファインド実装方法
- ソフトウェア・デファインド製品の評価方法

演習 ソフトウェア・デファインドへの変更により影響を受ける対象

3 ソフトウェア・デファインドの応用例

- 各業界動向
- スマホ/PC/家電
- SDV (Software Defined Vehicle) の実施例
- SDF (Software Defined Factory) への応用例
- Software-Defined Everything (SDx)
- ソフトウェア・デファインド保守方法
- サービスへの応用

演習 事例演習（ソフトウェア・デファインドの推進がうまくいかない事例をもとに検討）

4 ソフトウェア・デファインドの推進体制、人材育成

- ソフトウェア・デファインド推進ロードマップ
- ソフトウェア・デファインドの推進体制
- メカ/エレキ/ソフトウェア部門の連携
- 各モジュール（部品）メーカーとの役割分担
- SDV (Software Defined Vehicle) スキル標準
- 組織内での人材育成方法

演習 ソフトウェア・デファインドで重要なスキル検討

演習 自社製品のソフトウェア・デファインド検討

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

